

教員資格（教育職員免許状）

教員免許状の取得を希望する者は、「教育職員免許法」に基づき所定の単位を修得し、都道府県教育委員会に申請手続きを行うことで取得することができます。

また、公立学校の教員として勤務するためには、各都道府県等で開催する教員採用試験に合格し、採用候補者名簿に登録されなければなりません。私立学校の教員として勤務する場合には、各学校等が実施する採用試験に合格する必要があります。

1. 取得できる免許状の種類と免許教科

免許状の種類	免許教科	取得資格条件	対象学部学科
高等学校教諭一種免許状	福祉	大学卒業・学士の学位を有すること	総合福祉学部社会福祉学科
養護教諭一種免許状※		大学卒業・学士の学位を有すること	総合福祉学部福祉心理学科

※履修定員は各学年50名です。

2. 教育職員免許状の取得方法（履修科目・教育実習）

(1) 高等学校教諭一種免許状（福祉）

高等学校で生徒の学習面と生活面の指導をします。社会福祉についての豊富な専門知識に加え、公平で適切なアドバイスのできる人材が求められます。

高等学校教諭一種免許状（福祉）に関する教育課程（社会福祉学科）

（別表18）

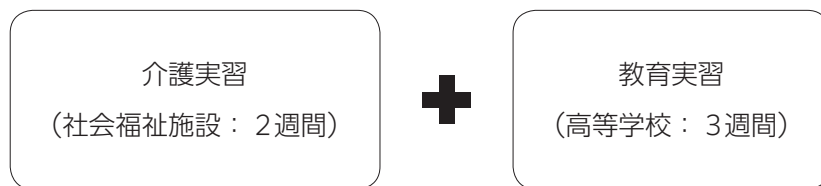
第一欄	教科及び教職に関する科目	右項の各科目に含めることが必要な事項	免許法施行規則に定める科目区分	開講科目名	単 位				
					必修	選択	履修年次	履修方法	
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項		社会福祉学(職業指導を含む。)	現代社会と福祉	2		1年以上	必修37単位
				社会福祉原論A	2		2年以上		
				高齢者福祉、児童福祉及び障害者福祉	高齢者福祉	2		1年以上	
				児童・家庭福祉	2		1年以上		
				障害者福祉	2		1年以上		
				社会福祉援助技術	ソーシャルワークの基盤と専門職	2		1年以上	
				介護理論及び介護技術	介護概論Ⅰ(ケアワークの基礎)	2		2年以上	
				基礎介護技術	2		2年以上		
				社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。)	介護実習の事前事後指導	1		3年以上	
				介護実習	2		3年以上		
				人体構造及び日常生活行動に関する理解	医学概論	2		2年以上	
				こころとからだのしくみA	2		2年以上		
				加齢及び障害に関する理解	老年心理学Ⅰ	2		3年以上	
					老年心理学Ⅱ	2		3年以上	
認知症の理解と支援Ⅰ	2		3年以上						
認知症の理解と支援Ⅱ	2		3年以上						
障害者の心理	2		1年以上						
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	福祉科の指導法	4		2年以上					
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目			教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論B	2		1年以上	必修12単位
				教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論B	2		1年以上	
				教育に関する社会的、制度的または経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学概論B	2		2年以上	
				幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学概論B	2		2年以上	
				特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育の理解B	2		3年以上	
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	中等教育課程の意義と編成	2		2年以上					
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目			総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法B	2		2年以上	必修10単位
				特別活動の指導法	特別活動の指導法B	2		2年以上	
				教育の方法及び技術	教育方法論(ICT活用を含む)	2		2年以上	
				情報通信技術を活用した教育の理論及び方法					
				生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論B	2		3年以上	
				進路指導(キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。)	教育相談の理論と方法B	2		3年以上	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)									
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習		教育実習(中・高)の事前指導	1		3年以上	必修6単位	
				教育実習(中・高)の事前事後指導	1		4年		
				教育実習(中・高)	4		4年		
				教職実践演習	2		4年		
第六欄	大学が独自に設定する科目(※1)								

※1 第六欄「大学が独自に設定する科目」については、第二欄から第五欄までの単位を充当することで満たすことができます。

教育職員免許法66条の6に定める科目				
日本国憲法	日本国憲法	2	1年以上	必修8単位
体育	スポーツA	2	1年以上	
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む)	2	1年以上	いずれか1科目選択必修
	ドイツ語Ⅰ(コミュニケーションを含む)	2	1年以上	
	ハンブル講座Ⅰ(コミュニケーションを含む)	2	1年以上	
	中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む)	2	1年以上	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理実習	2	1年以上	

1) 実習について

高等学校教諭一種免許状（福祉）を取得するためには、社会福祉施設で2週間の「介護実習」、高等学校（福祉）で3週間の「教育実習」と2種類の実習を行わなければなりません。



2) 介護実習

① 介護実習の意味

介護実習は、教育職員免許法の「教科に関する専門的事項」中の「社会福祉総合実習」に該当します。本学では、その内容を介護実習の事前・事後指導（1単位）、介護実習（2単位）に分けて行い、3年次以上で履修することが可能です。

介護実習は、学生が講義で学んだ知識・理論を福祉施設で行う2週間の実習体験を通して検証し、確認することにあります。ただし、施設には実習生を引き受けなければならない法的根拠はありません。ただ、人材の育成という善意のみで受け入れられています。そこには、クライアント（利用者）がおり、一人ひとりの個性・多様性を考慮し、彼らや施設の職員とコミュニケーションを図りつつ理解していかなければなりません。介護実習を希望する学生には十分な事前準備が求められます。

なお、介護実習に関する事務手続きは教育・教職センター教職課程支援室で行います。

介護実習までの流れ

時期		介護実習 ^{*1} に関する手続き・流れ
2年次 (3年次)	12月	介護実習希望調査
	1月	介護実習登録ガイダンス、登録金納入
3年次 (4年次)	4月～6月	介護実習の事前指導 実習の手引きの配付、実習先・日程の発表
	6月	実習記録の配付
		介護実習費納入
	7～12月	介護実習
実習終了後	介護実習の事後指導	

*1 介護実習は3年次または4年次で実施します。

※年度により日程は変動することがあります。詳細はUNIVERSAL PASSPORTでお知らせします。

② 介護実習の前提条件

介護実習を行うためには、「教科に関する専門的事項」を下記のように履修しておいてください。

	開講科目名	履修年次	履修前提条件
教科に関する専門的事項	現代社会と福祉	1年以上	単位修得済み
	社会福祉原論A	2年以上	単位修得済み
	高齢者福祉	1年以上	単位修得済み
	児童・家庭福祉	1年以上	単位修得済み
	障害者福祉	1年以上	単位修得済み
	ソーシャルワークの基盤と専門職	1年以上	単位修得済み
	介護概論Ⅰ（ケアワークの基礎）	2年以上	単位修得済み
	基礎介護技術	2年以上	単位修得済み
	介護実習の事前事後指導	3年以上	履修中
	介護実習	3年以上	履修中
	医学概論	2年以上	履修中
	こころとからだのしくみA（教員指定あり）	2年以上	履修中
	老年心理学Ⅰ	3年以上	履修中
	老年心理学Ⅱ	3年以上	履修中
	認知症の理解と支援Ⅰ	3年以上	履修中
	認知症の理解と支援Ⅱ	3年以上	履修中
	障害者の心理	1年以上	単位修得済み

3) 高等学校教育実習（福祉）

① 教育実習に関連する授業科目

教育実習は、教育職員免許法の「教育実践に関する科目」に規定されています。

本学では、その内容を

- ・教育実習（中・高）の事前指導（1単位：教育実習の前年度履修）
- ・教育実習（中・高）の事前事後指導（1単位：教育実習の当年度履修）
- ・教育実習（中・高）（4単位）

に分け、合計6単位の履修を課しています。

教育実習生は実習中に教育活動の全領域に参加し、実習校の校長および指導教諭の指導のもと、実習生自ら直接教育活動を行うことになります。

ただし、高等学校等には教育実習生を引き受けなければならない法的根拠および義務はなく、将来学校教育を担う後輩の育成という善意で受け入れているのですから、教育実習を希望する学生には十分な事前準備が求められます。

② 実習へ向けての準備

教育実習に関する事務は、教育・教職センター教職課程支援室が担当します。高等学校の教育実習は、出身校または卒業生以外でも受け入れている学校を探し、各自交渉して内諾を得てください。実習校における実習生の受け入れの実態は大変厳しいものになってきています。卒業生であっても受け入れを制限する学校や、教員採用試験の受験を条件とする学校もあります。そのため、実習の前々年度1月に実習希望校調査（第1回登録）を行い、前年度には実習校から内諾を得ることになります。実習登録は第1回と第2回の全2回あり、各回の登録を完了しないと、実習へ行くことができなくなりますので、ご注意ください。

ガイダンス等の学生に対する連絡は、UNIVERSAL PASSPORTにてお知らせします。見落とし等のないよう十分注意してください。

教育実習までの流れ

時期		教育実習に関する手続き・流れ
2年次	10月	教職課程履修費納入
	1月	教育実習第1回登録(ガイダンス：実習希望校の選定等)
3年次	4月	教育実習第2回登録(ガイダンス：実習希望校の確定・実習依頼等)
	5～9月	実習希望校訪問(該当者のみ)
	9月	教育実習事前指導開始(登録書の記入)
		教育実習の手引きの配付、教育実習登録金納入
1月	実習関係書類(誓約書等)の作成・提出	
4年次	4月	教育実習事前事後指導開始
		実習日誌等の配付、教育実習費納入
	5～12月	教育実習(実習終了後：お礼状送付、レポート提出)
	12月	教員免許状一括申請に関する書類の作成・提出*1

*1 教育職員免許状（高等学校一種免許状（福祉科））の申請に関わる手続きです。

※年度により日程は変動することがあります。詳細はUNIVERSAL PASSPORTでお知らせします。

③ 教育実習履修の前提条件（福祉）

以下に示す前提条件を実習年度の4月までに満たす必要があります。条件を満たせない場合、教育実習を行うことはできません。

	開講科目名	履修年次	履修前提条件
教科に関する専門的事項	現代社会と福祉	1年以上	単位修得済み
	社会福祉原論A	2年以上	単位修得済み
	高齢者福祉	1年以上	単位修得済み
	児童・家庭福祉	1年以上	単位修得済み
	障害者福祉	1年以上	単位修得済み
	ソーシャルワークの基盤と専門職	1年以上	単位修得済み
	介護概論Ⅰ（ケアワークの基礎）	2年以上	単位修得済み
	基礎介護技術	2年以上	単位修得済み
	介護実習の事前事後指導	3年以上	履修中
	介護実習	3年以上	履修中
	医学概論	2年以上	履修中
	こころとからだのしくみA（教員指定あり）	2年以上	履修中
	老年心理学Ⅰ	3年以上	履修中
	老年心理学Ⅱ	3年以上	履修中
	認知症の理解と支援Ⅰ	3年以上	履修中
	認知症の理解と支援Ⅱ	3年以上	履修中
	障害者の心理	1年以上	単位修得済み
基礎的理解に関する科目等	教職論B	1年以上	単位修得済み
	教育学概論B	1年以上	いずれか1科目以上単位修得済み
	教育心理学概論B	2年以上	
	教育社会学概論B	2年以上	いずれか2科目以上単位修得済み
	中等教育課程の意義と編成	2年以上	
	福祉科の指導法	2年以上	
	総合的な学習の時間の指導法B	2年以上	
	特別活動の指導法B	2年以上	
	教育方法論（ICT活用を含む）	2年以上	
	生徒指導・進路指導論B	3年以上	履修中
	教育実習（中・高）の事前指導	3年以上	単位修得済み
	教育実習（中・高）の事前事後指導	4年	履修中
六六条の六	日本国憲法	1年以上	単位修得済み
	スポーツA	1年以上	
	英語Ⅰ（コミュニケーションを含む）	1年以上	いずれか1科目以上単位修得済み
	ドイツ語Ⅰ（コミュニケーションを含む）	1年以上	
	ハングル講座Ⅰ（コミュニケーションを含む）	1年以上	
	中国語Ⅰ（コミュニケーションを含む）	1年以上	単位修得済み
情報処理実習	1年以上		

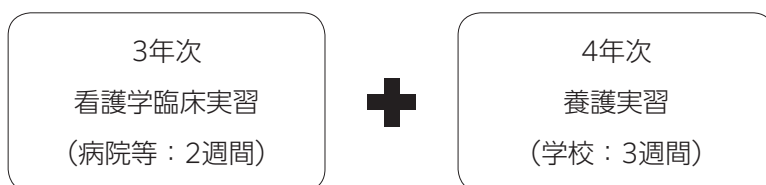
(2) 養護教諭一種免許状

①養護教諭とは

学校の保健室を中心に、救急処置、健康診断や健康観察、保健教育などの活動を行う教育職のことをいいます。近年は身体の健康面だけでなく、心のケアという点も重要視され、健康相談は職務の中で大きなウェイトを占めるようになりました。つまり、児童・生徒の心身の健康に直接関わるきわめて大事な仕事といえます。児童・生徒の命に関わる尊い仕事であることを理解して、免許状取得に向けて努力してください。

②実習について

養護教諭一種免許状を取得するためには、病院等で2週間の「看護学臨床実習」、学校現場で3週間の「養護実習」と2種類の実習を行わなければなりません。



③履修定員について

総合福祉学部福祉心理学科の各学年50名（選抜条件あり）

④選抜条件について

- (a) 総合福祉学部福祉心理学科に4年間在籍すること
- (b) 1年次に「学校保健」「養護概説」「疾病予防及び看護学」の3科目の単位を修得する（成績評価「可」以上をとる）こと
上記3科目の合計点により上位50名*を選抜する。
*該当者は、選抜後に実施される個別面接を受けてください。
- (c) 指定期間内に、選抜の希望者登録*を完了すること
*詳細は1年次後期に実施するガイダンスで説明します。

養護教諭一種免許状に関する教育課程（福祉心理学科）

（別表19）

第一欄	養護及び教職に関する科目	免許法施行規則に定める科目区分	開講科目名	単 位			
				必修	選択	履修年次	履修方法
第二欄	養護に関する科目	衛生学及び公衆衛生学(予防医学を含む。)	公衆衛生学	2		2年以上	必修41単位
			医学概論	2		2年以上	
		学校保健	学校保健	2		1年以上	
		養護概説	養護概説	2		1年以上	
			養護活動論	2		2年以上	
		健康相談活動の理論及び方法	健康相談活動(理論及び方法)	2		3年以上	
			健康相談	2		3年以上	
		栄養学(食品学を含む)	栄養学(食品学を含む)	2		2年以上	
		解剖学及び生理学	解剖生理学	2		2年以上	
		〔微生物学、免疫学、薬理概論〕	微生物学	4		2年以上	
		精神保健	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2		2年以上	
			現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2		2年以上	
			精神医学と精神医療Ⅰ	2		3年以上	
			精神医学と精神医療Ⅱ	2		3年以上	
		看護学(臨床実習及び救急処置を含む。)	救急処置及び看護法	2		3年以上	
			看護学	4		2年以上	
疾病予防及び看護学	2			1年以上			
看護学臨床実習の事前事後指導	1			3年以上			
		看護学臨床実習	2		3年以上		
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論B	2		1年以上	必修12単位
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論B	2		1年以上	
		教育に関する社会的、制度的または経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学概論B	2		2年以上	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学概論B	2		2年以上	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育の理解B	2		3年以上	
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程の意義と編成	2		2年以上			
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	道徳の指導法B	2		2年以上	必修12単位
			総合的な学習の時間の指導法B	2		2年以上	
			特別活動の指導法B	2		2年以上	
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論(ICT活用を含む)	2		2年以上	
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論B	2		3年以上	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	教育相談の理論と方法B	2		3年以上			
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	養護実習の事前指導	1		3年以上	必修6単位
			養護実習の事前事後指導	1		4年	
			養護実習	4		4年	
		教職実践演習	教職実践演習(養護教諭)	2		4年	必修2単位
第六欄	大学が独自に設定する科目(※1)						

※1 第六欄「大学が独自に設定する科目」については、第二欄から第五欄までの単位を充当することで満たすことができます。

教育職員免許法66条の6に定める科目						
日本国憲法	日本国憲法	2		1年以上	必修8単位	
体育	スポーツA	2		1年以上		
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む)		2	1年以上	いずれか1科目選択必修	
	ドイツ語Ⅰ(コミュニケーションを含む)		2	1年以上		
	ハンブル講座Ⅰ(コミュニケーションを含む)		2	1年以上		
	中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む)		2	1年以上		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理実習	2		1年以上		

1) 看護学臨床実習

① 看護学臨床実習の意味

看護学臨床実習は、教育職員免許法の「養護に関する科目」中の「看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）」に該当します。

看護学臨床実習は、学生が講義で学んだ知識・理論を病院で行う2週間の実習を通して検証し、確認することにあります。ただし、病院には実習生を引き受けなければならない法的根拠および義務はなく、人材の育成という善意のみで受け入れてくださいます。そこには、患者がおり、一人ひとりの個性・多様性を考慮し、患者や病院の職員とのコミュニケーションを図りつつ理解していかなければなりません。看護学臨床実習を希望する学生には十分な事前準備が求められます。

看護学臨床実習までの流れ

時期		看護学臨床実習*1に関する手続き・流れ
2年次	6月	看護学臨床実習登録・予防接種ガイダンス 看護学臨床実習登録金納入
	7～3月	抗体検査および予防接種 ↓
3年次	4月	看護学臨床実習の事前事後指導開始 実習の手引きの配付、実習先・日程の発表
	6月	実習記録の配付 看護学臨床実習費納入
		7～12月
	12月	看護学臨床実習報告会

*1 看護学臨床実習は基本的に3年次以上で実施します。

※年度により日程は変動することがあります。詳細はUNIVERSAL PASSPORTでお知らせします。

② 看護学臨床実習履修の前提条件

看護学臨床実習を実施するには、「養護に関する科目」を下記のように履修してください。

	開講科目名	履修年次	履修前提条件
養護に関する科目	疾病予防及び看護学	1年以上	単位修得済み
	医学概論	2年以上	
	看護学	2年以上	
	解剖生理学	2年以上	
	栄養学（食品学を含む）	2年以上	単位修得済みもしくは履修中
	微生物学	2年以上	
	救急処置及び看護法	3年以上	
	精神医学と精神医療Ⅰ	3年以上	
	精神医学と精神医療Ⅱ	3年以上	

2) 養護実習

① 養護実習の意味

養護実習は、教育職員免許法の「教育実践に関する科目」として規定されています。

本学では、その内容を

- ・ 養護実習の事前指導（1単位：養護実習の前年度履修）
- ・ 養護実習の事前事後指導（1単位：養護実習の当年度履修）
- ・ 養護実習（4単位）

に分け、合計6単位の履修を課しています。

養護実習生は、実習校の校長および指導教員の指導のもと、おもに児童・生徒を対象とした養護実践を行うこととなります。ただし、実習受け入れ先の学校には実習生を引き受けなければならない法的根拠および義務はなく、将来の学校教育を担う後輩の育成という善意だけで受け入れてくださいますので、養護実習を希望する学生には十分な事前準備が求められます。

② 実習へ向けての準備

養護実習は、小学校と中学校を中心とする学校で3週間行いますので、出身校または卒業生以外でも受け入れている学校を探し、各自交渉して内諾を得てください。実習校における実習生の受け入れの実態は大変厳しいものになってきています。卒業生であっても受け入れを制限する学校や、教員採用試験の受験を条件とする学校もあります。そのため、実習の前々年度1月に実習希望校調査（第1回登録）を行い、前年度には実習校から内諾を得ることとなります。実習登録は第1回と第2回の全2回あり、各回の登録を完了しないと、実習へ行くことができなくなりますので、ご注意ください。

ガイダンス等の学生に対する連絡は、UNIVERSAL PASSPORTにてお知らせします。見落とし等のないよう十分注意してください。

養護実習までの流れ

時期		養護実習に関する手続き・流れ
2年次	10月	教職課程履修費納入
	1月	養護実習第1回登録(ガイダンス：実習希望校の選定等)
3年次	4月	養護実習第2回登録(ガイダンス：実習希望校の確定・実習依頼等)
	5～9月	実習希望校訪問(該当者のみ)
	9月	養護実習事前指導開始
		実習の手引きの配付、養護実習登録金納入
1月	実習関係書類(誓約書等)の作成・提出	
4年次	4月	養護実習事前事後指導開始
		実習日誌等の配付、養護実習費納入
	5～12月	養護実習(実習終了後：お礼状送付、レポート提出)
	12月	教員免許状一括申請に関する書類の作成・提出 ^{*1}

*1 教育職員免許状(養護教諭免許状)の申請に関わる手続きです。

※年度により日程は変動することがあります。詳細はUNIVERSAL PASSPORTでお知らせします。

③ 養護実習履修の前提条件

以下に示す前提条件を実習年度の4月までに満たす必要があります。条件を満たさない場合、養護実習を行うことはできません。

	開講科目名	履修年次	履修前提条件
教養等科目	禅のこころ（建学の精神・理念を含む）	1年以上	単位修得済み
	リエゾンゼミⅠ（基礎演習）	1年以上	
	日本国憲法	1年以上	
	スポーツA	1年以上	
	英語Ⅰ（コミュニケーションを含む）	1年以上	いずれか1科目単位修得済み
	ドイツ語Ⅰ（コミュニケーションを含む）	1年以上	
	ハングル講座Ⅰ（コミュニケーションを含む）	1年以上	
	中国語Ⅰ（コミュニケーションを含む）	1年以上	単位修得済み
	情報処理実習	1年以上	
教育の基礎的理解に関する科目等	教職論B	1年以上	単位修得済み
	教育学概論B	1年以上	
	養護実習の事前指導	3年以上	
	養護実習の事前事後指導	4年	履修中
	教育課程の意義と編成	2年以上	単位修得済み ただし、履修中でも可
	道徳の指導法B	2年以上	
	総合的な学習の時間の指導法B	2年以上	
	生徒指導・進路指導論B	3年以上	
	教育心理学概論B	2年以上	
	教育社会学概論B	2年以上	
	教育方法論（ICT活用を含む）	2年以上	
	養護に関する科目	公衆衛生学	2年以上
学校保健		1年以上	
養護概説		1年以上	
救急処置及び看護法		3年以上	
看護学臨床実習		3年以上	
養護活動論		2年以上	単位修得済み ただし、履修中でも可
健康相談活動（理論及び方法）		3年以上	
健康相談		3年以上	